

STARS（市立貝塚病院）研修プログラム（2027年度）【予定】

研修プログラムSTARS（**S**enshu Clinical **T**raining Program of **A**ssociated Hospitals for **R**esidency and **S**peciality）は、泉州で医師育成を共同で行うため、市立貝塚病院とりんくう総合医療センターの共同プログラムです。

市立貝塚病院で何ができるのか？！！

＝＝＝必ず育てます！独り立ちできる医師を！＝＝＝



4月	オリエンテーション 院内見学及び基本オリエンテーション 医師国家試験合格おめでとうございます。いよいよ2年間の臨床研修が始まります。まずは皆さんの働く職場である院内見学。また病院という医療現場で働く職員として、「医療安全」「感染防止」等の基本を学んでいただきます。そしてこの2年間は、 研修医からの質問・疑問の発信が自らを育てる期間です 。わからないことは先輩や指導医にどしどし投げかけましょう。「楽しく」「厳しく」をぜひ一緒に体感しましょう！！
5月	内科研修 一般総合内科・循環器内科・神経内科・消化器内科（うち10日間は、一般外来の並行研修） ※1か月を限度として、りんくう総合医療センターでの内科研修を選択可能 医師になって初めての研修です。フレッシュな気持ちでスタートを切った初期研修医の皆さんにまず求められるのは「 元気 」「 挨拶 」「 貪欲な姿勢 」だと思います。情性で一番大切な時期を過ごさぬよう色々な経験を積んでいくことが大切ですが、期間が限られるのである程度対象を絞りながら研修していく柔軟性も必要です！ 内科初期研修目標は以下の3 Steps です。
6月	Step1 まずは全ての基本 ☐ 元気よく挨拶をしよう ☐ 全ての同僚医師、コメディカル、病院職員と良好な人間関係を築こう Step2 病棟生活に慣れながら、全ての科の基礎となるいろはを学ぶ ☐ 医療面接で患者さんより必要な情報を取得し、患者さん、家族と適切な人間関係を築こう ☐ 基本的身体診察法を実施し、カルテに記載できるようになろう ☐ 医療記録（カルテ、サマリー、診断書、紹介状）を作成できるようになろう ☐ カンファレンスに参加し診察→諸検査→診断→治療のプロセスを学ぼう ☐ コメディカルと連携がとれるようになろう
7月	Step3 お医者さんのお仕事の核を学ぶ ☐ 消化器内科・内科・循環器内科・神経内科の主要症候を診察、診断、理解しよう ☐ 血液・生化学・免疫学検査、尿検査、便検査を理解できるようになろう ☐ 基本的な治療手技（一般手技に加え胃管、導尿、尿管カテーテル留置、浣腸、腹腔穿刺、胸腔穿刺、経管栄養）を理解し施行、管理できるようになろう ☐ 胸腹部レントゲン写真、頭胸部 CT 検査・MRI 検査を理解し読影できるようになろう ☐ 心電図、心臓超音波、腹部超音波検査を理解し、施行できるようになろう ☐ 輸液、輸血、薬物療法の基本を理解し施行できるようになろう
8月	☐ 上下部消化器内視鏡検査（胃カメラ・大腸カメラ）、膵管胆管造影下処置、気管支鏡を理解し簡単な処置の助手を経験しよう ☐ 中心静脈穿刺（大腿・内頸静脈）を介助し施行できるようになろう ☐ 救急初療の手順を学ぼう ☐ 急変時対応（除細動・心マッサージ・気管内挿管）を介助し施行できるようになろう ☐ 指導医のミニカンファレンスに参加し勉強しよう ☐ 受け持ち患者さんの症例提示をカンファレンスや院内発表会、学会で発表してみよう
9月	
10月	救急部門 泉州救命救急センターにて研修（泉佐野市りんくう往来北） 3次救急を経験 救急の主要な疾患を理解し重症度の鑑別および病態変化の予想が理解でき、トリアージが行えることが第一の目標です。研修では次の手技ができるよう、一つ一つ指導します。 ☐ 診触診および理学的所見より基本的重症分類ができる。 ☐ 緊急画像診断により典型的脳出血、くも膜下出血、脳梗塞が診断できる。 ☐ 緊急画像診断により典型的肺炎、肺気腫が診断できる。 ☐ 緊急画像診断により典型的消化管せん孔が診断できる。 ☐ 緊急画像診断により典型的心不全が診断できる。 ☐ 緊急画像診断により典型的骨折が診断できる。 ☐ 血液検査の基本的判断ができる。 ☐ 意識障害の分類が理解でき、血液検査から代謝性意識障害を鑑別できる。 ☐ 気管内挿管ができる。 ☐ 心マッサージができる。 ☐ 中心静脈確保ができる。 ☐ 直流除細動ができる。 ☐ 胃管が挿入でき胃洗浄ができる。 ☐ 救急蘇生のための薬剤の知識が理解でき使用できる。 ☐ DOA (dead on arrival) の場合の法的対処が理解できる。 ☐ 薬物中毒の可能性、事件事故の可能性を疑う場合を理解できる。 ☐ 臨床的脳死状態と判断でき、その場合の対処ができる。
11月	



12月	
1月	
2月	
3月	

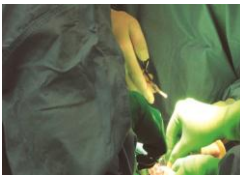
救急麻酔科

麻酔科

- マンツーマンの指導により、最低限の気道確保・蘇生処置と血管確保については必ず習得させます！
- 術前の患者評価、術前患者に対する麻酔医としての配慮を身につけよう
 - 麻酔器点検、各種モニターの点検・使用法を習得
 - 麻酔中の循環動態の変動に対する処置を習得しよう
 - 麻酔薬の使用法、選択ができるようになろう
 - 輸液管理の基礎を理解しよう
 - 血管確保の方法を身につけよう
 - 酸塩基平衡、血液ガス分析、電解質管理の基礎を理解しよう
 - 気道の確保の方法（エアウェイ、マスク、気管内挿入など）をマスターしよう

研修医は、救急診療の研修として、指導医とともに日々の救急患者の初期対応にもあたります。

市中病院特有の様々な救急症例を体験 !!



外科

消化器外科、乳腺外科（うち5日間は、一般外来の並行研修）

- スタッフのマンツーマンの指導の下、様々な外科的処置、手技を経験可能です。将来、外科を専攻する、しないに関わらず研修での経験は必ず役に立つと思います。積極性をもって取り組んでいただければスタッフは熱意を持って研修指導します！
- 当科の研修では以下の達成目標を掲げています。
- 術前、術中、術後管理、外科的な総合力（診断から治療まで）を身につける
 - 術前検査の結果を解釈し手術適応、及び手術術式が選択できるようになる
 - 外科の基本手技を施行できるようになる（創の縫合閉鎖、中枢ルート作成、ポート挿入、エコーガイド下穿刺ドレナージなど）
 - ヘルニア、虫垂炎、胆嚢結石手術の第1助手をつとめる
 - 胃癌、大腸癌、肝癌、脾癌、乳癌の手術の助手を多数経験する
 - 胃癌、大腸癌、肝胆脾疾患の鏡視下手術の助手を多数経験する



2 年次

4月	
5月	
6月	
7月	

小児科

小児科（うち5日間は、一般外来の並行研修）

- 南大阪地域で基幹病院が輪番制で行っている救急当直に院内医師とともに入り、地域での小児救急医療の最前線を経験する。
- 医療面接：患児およびその養育者（特に母親）との間に好ましい人間関係を作り、発達歴・成長歴・ワクチン歴などの小児科特有の病歴聴取ができること。
 - 臨床検査：血液・尿検査をはじめ生化学的検査や生理学的検査において、小児の各年齢的特性を理解できること。
 - 診療：各年齢層に応じた診療手技を身につけること、及び小児特有の症状・病態（特に発達・発育遅滞、発疹性疾患、けいれん等）を経験すること。
 - その他：母子健康手帳の活用や院内感染防止の理解、小児救急医療を経験し地域医療との連携に参画できること。



産婦人科

婦人科（市立貝塚病院）、産科（りんくう総合医療センターにて研修）

- 産科はりんくう総合医療センター、婦人科は市立貝塚病院を中心とした研修です。
- 研修内容は、必要な産科婦人科の知識、技術の習得、女性に対しての接し方、特に流産、更年期症状等においてプライバシーの保護も含めた対応の仕方、女性特有の疾患に基づく救急医療に対応する能力の習得および新生児も含めた研修です。
- 婦人科：腫瘍、性器感染症、不妊、内分泌の理解
 - 産科：正常妊娠経過の管理、正常分娩の取り扱い、正常産褥の管理
 - 手術について、帝王切開術、子宮付属器手術の経験と理解
 - 産科、婦人科的応急処置方法の理解
 - 妊婦外来：妊娠診断法、内診法、超音波検査法、分娩監視装置の読み方、切迫流産、早産、妊娠高血圧症候群などの発見等、細心の注意をしてその管理に努める。また母親学級にも積極的に参加して妊婦との接触も深める。
 - 婦人科外来：婦人科腫瘍の診断(子宮筋腫、子宮内膜症、子宮頸癌、子宮体癌、卵巣腫瘍)、感染症の診断(STD、クラミジア、性器ヘルペス) 性器の位置異常の診断(子宮脱、膀胱脱、直腸脱)、内分泌疾患の診断(月経異常、下垂体疾患)、更年期障害の治療
 - 婦人科検査法の習得：CT、MRI、腫瘍マーカー、ホルモン値、子宮卵管造影、子宮鏡検査
 - 入院患者の診療：受け持ちは常勤医と共に行い、多くの症例を経験してもらう。



精神科

水間病院にて研修（貝塚市内）

- 全ての診療科の医師が医師として最低限習得しておくべき精神医学の基本的な知識や手技を学び、心に障害を有する全ての患者に対して適切な初期医療ができるようになること。
- 入院および外来患者の診療や症例検討会などに参加することによって症状精神病、認知症疾患、アルコール依存症、統合失調症、躁うつ病、不安障害などの主たる精神神経疾患についての基本的知識を学ぶ。
 - 基本的診察法（問診、病歴聴取、神経学的所見記載、精神症状学的所見記載）・特殊検査（知能・心理テスト、脳画像、脳波）・精神科治療法（面接法、心理療法、向精神薬使用法、精神科リハビリテーション）を理解・習得する。



STARS（市立貝塚病院）研修プログラム（2027年度）【予定】

8月	地域医療 貝塚西出クリニック、河崎病院、清名台外科、なかたクリニック、熊取ファミリークリニックから2病院あるいは 隠岐広域連合立隠岐病院を選択 貝塚西出クリニック、河崎病院、清名台外科、なかたクリニック、熊取ファミリークリニックのうち2施設あるいは隠岐広域連合立隠岐病院を選択し、外来診療、在宅医療や回復期のリハビリテーション診療について1ヶ月研修する。患者が営む日常生活や居住する地域の特性に即した医療（在宅医療を含む）について理解し、実践する。 ●貝塚西出クリニック（貝塚市内）  □診療に貢献するような役割(医療面接・身体診察とその記録、検査・治療計画の立案、訪問診療、救急患者への対応、診療情報提供書の作成(指導医の言う内容の口述筆記など))を与える。毎日の外来診療の終わりに診察内容について振り返り、フィードバックする。 □外来診療、透析診療の陪診。往診・訪問診療同行 ●河崎病院（貝塚市内） □回復期リハビリテーションプログラムの重要性と、スタッフ・コメディカルとの協調によるチーム医療を理解する。 □急性期カンファレンス、回復期カンファレンス及び病棟回診につき、病状時期に合わせた診療を理解する。 □新入院患者家族面談に立ち合い、家族に対する説明能力と全人的な対応を学ぶ。 ●清名台外科（貝塚市内） □地域医療の位置づけと機能を理解し、病診連携の在り方を理解する。 □健康相談から生活習慣病、消化器外科や整形外科などの外科疾患まで地域の総合診療を実践する。 ●なかたクリニック（貝塚市内） □生活習慣病の診断・治療・管理について学び、地域医療におけるかかりつけ医の役割を理解する。 □外来診療陪診、往診・訪問診療に同行し、家庭内で行う医療を理解し実践する。 ●隠岐広域連合立隠岐病院（島根県隠岐の島／へき地医療） 選択科目 市立貝塚病院及びりんくう総合医療センターの全診療科から希望選択 研修医の次のステップのための診療科を選択して研修。当院とりんくう総合医療センターの全診療科から希望に合わせ、今後の専攻医・学会認定取得に結び付けるサポートをします。両病院の相談体制も整え、皆さんをお待ちしています！ 【市立貝塚病院】（病床数 249 床） 特徴： - 消化器内科及び消化器外科の充実による消化器がんや、乳がん婦人科がん等の女性特有がんに対する高度医療（消化器・肝臓センター、人工関節センター、乳がん高度検診・治療センター、婦人科腫瘍センター、前立腺・排尿ケアセンター、日帰り手術センター、低侵襲外科手術センター） - がん診療拠点病院として、高度がん診療の充実（緩和ケア病棟開設） - 診療科：内科・循環器内科・消化器内科・神経内科・外科・消化器外科・乳腺外科・整形外科・形成外科・産婦人科・小児科・皮膚科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・放射線診断科・放射線治療科・病理診断科・麻酔科・救急科・リハビリテーション科・緩和ケア内科 【りんくう総合医療センター】（病床数 388 床） 特徴： - 泉州救命救急センターを有した、3次救急の実践 - 循環器・脳神経外科の充実による高度医療 - 診療科：内科・総合内科感染症内科・腎臓内科・血液内科・肺種痘内科・神経内科・循環器内科・呼吸器内科・消化器内科・外科・脳神経外科・心臓血管外科・整形外科・形成外科・呼吸器外科・小児科・産婦人科・泌尿器科・眼科・耳鼻咽喉科・歯科口腔外科・放射線科・麻酔科・リハビリテーション科・救急科・救命診療科 【共同研修体制とは】 ◆ ACLS講習などを共同で受講。 ◆ CPC、抄読会、研修会等を合同で開催。 ◆ 学会発表の報告会、研究発表会等を合同で開催。 ◆ どちらの病院の症例検討会や勉強会へも参加が可能とする。 ◆ 両病院の診療科相互乗り入による選択幅の拡大。 ◆ 所属病院にかかわらず、同レベルの研修成果を得ることが可能。 ◆ 共同の研修センター「サザンウィズ」設立。研修医のキャリアサポートを行う。
9月	
10月	
11月	
12月	
1月	
2月	
3月	

研修医フォロープログラム

当院では、研修医個々に合わせた面談スケジュールや、フォロープログラムを設定し、研修状況に加えメンタルフォローを行い2年後には次のステップへ自信をもって進める医師を育てます。

1年次

- 4月・・・オリエンテーション（院長面談）
- 5月・・・プログラム責任者面談（メンタルフォロー）
- 8月・・・研修医座談会
- 10月・・・指導医（先輩医師）フォロー
- 11月・・・プログラム責任者面談（選択研修）

2年次

- 5月・・・プログラム責任者面談（後期研修フォロー）
- 11月・・・指導医（先輩医師）フォロー
- 2月・・・院長面談



「研修医のためのミニ講義」開催！！

- ・輸液の疑問に答えます
- ・自信をもって診る！女性の腹痛
- ・心電図のよみ方入門 など

◆研修医一人ひとりに合わせた研修パターン…あなたの場合は？！

ス

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科研修(総合内科・循環器内科・消化器内科・神経内科) (泉州救命救急センターにおけるACLS研修受講を含む)						救急部門研修 麻酔科1ヶ月・救急診療2ヶ月			外科研修3ヶ月 (消化器外科・乳腺外科)		
2年次	小児科(2ヶ月)		産婦人科	精神科	地域医療	選択科目(市立貝塚病院・りんくう総合医療センターの 全診療科から自由に選択)						



《例えばこんなコース選びもできます！》

乳腺・形成重点コース(例)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科研修(総合内科・循環器内科・消化器内科・神経内科) (泉州救命救急センターにおけるACLS研修受講を含む)						救急部門研修 麻酔科1ヶ月・救急診療2ヶ月			外科研修3ヶ月 (消化器外科・乳腺外科)		
2年次	小児科(2ヶ月)		産婦人科	精神科	地域医療	外科 (貝塚)		乳がん高度検診・治療センター (貝塚)				形成外科 (貝塚)

※外科・乳がんセンター研修期間は自由設定

近年、増加する
乳がんの治療に
携わりたいあなた

麻

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科研修(総合内科・循環器内科・消化器内科・神経内科) (泉州救命救急センターにおけるACLS研修受講を含む)						救急部門研修 麻酔科1ヶ月・救急診療2ヶ月			外科研修3ヶ月 (消化器外科・乳腺外科)		
2年次	小児科(2ヶ月)		産婦人科	精神科	地域医療	救命救急 (りんくう)		麻酔科(貝塚)				

「救命病棟 24 時」
「コードブルー」に
あこがれたあなた

周産期重点コース(例)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科研修(総合内科・循環器内科・消化器内科・神経内科) (泉州救命救急センターにおけるACLS研修受講を含む)							救急部門研修 麻酔科1ヶ月・救急診療2ヶ月			外科研修3ヶ月 (消化器外科・乳腺外科)	
2年次	小児科(2ヶ月)	産婦人科	精神科	地域医療	産婦人科(りんくう・貝塚)					NICU(りんくう)	小児科(貝塚)	

赤ちゃん・子ども・
お母さん、女性の
病気を治したい
あなた

外科系コース(例)

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
1年次	内科研修6ヶ月(総合内科・消化器内科・神経内科) (泉州救命救急センターにおけるACLS研修受講を含む)						救急部門研修 麻酔科1ヶ月・救急診療2ヶ月			外科研修3ヶ月 (消化器外科・乳腺外科)		
2年次	小児科(2ヶ月)		産婦人科	精神科	地域医療	外科 (貝塚)			整形外科 (貝塚)		泌尿器科 (貝塚)	

めざせ
『BLACK JACK』!
将来、外科専門医と
して活躍したい
あなた

※ 病院イベント など

◎ 新人歓迎会



◎ 災害医療訓練



指導医、上級医との距離が近く、
アットホームな雰囲気です。

貝塚市イメージキャラ
クター「つげさん」



研修病院選びのポイント！！「熱心な指導医」「病院の指導への意気込み」
「研修の楽しさと厳しさ」！お待ちしております。

病院見学：いつでも下記へ問合せください。基本は半日コース。希望に合わせ見学内容を
組み合わせます。

問合せ：〒597-0015 大阪府貝塚市堀 3 丁目 10 番 20 号

市立貝塚病院 総務課 棕橋(くらはし)

メール：hospsomu@city.kaizuka.lg.jp

TEL：072-438-5500

病院ホームページ：<https://www.hosp.kaizuka.osaka.jp/>

